



御菌中だより

清流

令和4年8月29日
令和4年度 伊勢市立御菌中学校
第8号 伊勢市磯町2225
文責 校長 西川泰正

教育目標「心豊かで たくましく 今日を生きぬく 御菌中生徒の育成」 Tel.36-5139 Fax.36-4701

気持ちを新たに～目標を持って学校生活を

夏休みが終わりました。去年は夏休み後に臨時休業がありましたが、今年はコロナウイルスの感染者数は昨年より多いけれど通常の学校生活が始まります。思い通りの夏休みだったという人もいれば、思い通りにはいかなかった人もいるでしょう。それぞれこれまでの自分を振り返り、気持ちを切り替えて、実現できそうな新しい目標を持ってこれからの学校生活を送ってほしいと思います。目標を立てたらそのために自分は何をすればいいのかを考えましょう。中学生は、まだまだ未完成ですから伸ばすべきところはいろいろとあります。いわゆる「伸びしろ」はたっぷりです。前にも話したことがあります。時間をかけてやってきたことが得意なことにつながります。自分の能力を高めていき、できることが増えていくとそのことが自分の自信にもつながるかもしれません。活躍している自分をイメージして目標に向かって努力していきましょう。



夏季体育大会の結果について

三重県中学校総合体育大会が開催され、本校からは女子バスケットボール、女子ソフトテニス(個人)、柔道の3種目に出場しました。バスケットボールは、7月28日、29日にサオリーナで開催され、1回戦八風中、2回戦桔梗が丘中に勝利し準決勝で千代崎中と対戦しました。最後までどちらが勝利するかわからない接戦を繰り返しましたが、わずかの差で敗れて3位となりました。稲美花那さんと高橋希歩さんが優秀選手賞をいただきました。ソフトテニスは、7月28日に四日市ドームで個人戦が行われ、片岡楓菜さん・北村珠梨さんのペアが出場しました。残念ながら初戦で敗れてしまいました。柔道は、亀山市西野公園体育館で7月28日に行われ、50kg級に北村瑠玖さんが出場し、2勝してベスト8まで進みましたが準々決勝で敗れました。3年生の多くの人は部活動も引退となりますが、1,2年生の人たちは、来年度は少しでも上位の大会に進めるように日々の練習から励んでもらいたいと思います。

陸上競技の大会結果について

7月21日と22日に第68回全日本中学校通信陸上競技三重大会が開催され、男子三段跳びで佐々木翔梧さんが3位となりました。また、男子100mB決勝で松月快斗さんが8位に入賞しました。8月11日と12日に行われた第71回伊勢度会陸上選手権大会において佐々木翔梧さんが、ジャベリックスローで3位、走り幅跳びで6位、三段跳びで7位に入賞しました。また、和泉悠聖さんも走り幅跳びで7位に入賞しました。陸上競技は、9月24日、25日の伊勢度会陸上大会が予定されておりその結果で10月15日、16日の県中学陸上大会へと進みます。健闘を期待しています。

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルスの感染者数が過去最大という報道が続いています。夏休み中においても生徒自身やご家族のコロナウイルス感染の連絡をいただきました。これまで生徒に感染者があれば「すぐメール」にて感染者があったことをお知らせしていましたが、保健所の業務の逼迫により学校内での活動による濃厚接触者認定がほぼないこともあり夏休みに入ってからはお知らせを行っておりません。今後は学級閉鎖等の処置がある場合に「すぐメール」でお知らせをします。ご理解のほどお願いいたします。なお、現在は新型コロナウイルスへの感染がいつあってもおかしくない状態です。より一層の感染対策を行うとともに検温等の体調管理も徹底していきたいと思いますのでご家庭におきましてもご協力のほどお願いいたします。

自分のことを自分で考えることの大切さ

「勉強しなさい。」「宿題やりなさい。」親や教師はまるで自分の課題であるかのように子どもに要求をしてしまいますが、本来勉強すること、宿題をすることは子ども本人の課題です。宿題がわからなければ、親や教師に「ここがわからないので教えてください。」と子どもが言うべきことです。でもそのような子どもになるには、「なぜ勉強が必要か。」「なぜ宿題が必要か。」が理解できて、自分のやるべきことだと自覚していることが必要です。これからの日本の子どもたちの課題として自分の力で切り抜けていく力が必要になるといわれています。「今ある仕事の職種の多くが、10年後や20年後にはあるかどうかわからない。」と言われる時代ですので、必ずしも成績が上位であれば安泰かと言えばそうとは限りません。これからは自分のことは自分で考え、よりよく生きるすべを考えていくことが必要です。つまり、自立した考えを持ち、行動していくことが不可欠な世の中になっていくだろうということです。とはいえ、今まで命令されて育ってきた子どもがそう簡単に変わることは考えられません。「自分のことだから自分でやりなさい。」と言われ途方に暮れる子どもや何もできない子どもも想像できます。新学習指導要領では、「主体的な学び」が謳われています。今は、少し調べればいろいろなことがわかります。スマホを使って「siri」や「Google」に話しかければ答えてくれたり、「Line」で写真をとれば翻訳してくれたりします。このような時代になると必要な能力は何かといえば、「新しいことを学ぼうという意欲」や「粘り強く解決しようとする能力」など今までにあまり注目されてこなかったことが重要視されてきています。「主体的な学び」もその一つです。社会の変化のスピードは、とても速くなってきていて学校教育は「新しいことを学ぶ場」ではなくなってきました。でも学校という場での「対話による深い学び」など学校でしか学べないこともあります。学校教育の変化はこれからも続くことでしょう。学ぶ側も教える側も「主体性」が問われているのかもしれません。

伊勢市立小中学校科学創作展について

例年9月上旬の土日に開催される科学創作展ですが、新型コロナウイルス感染症対策として今年度もWeb上(kasouten.net)での公開となります。期間は、10月14日(金)～23日(日)です。